

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年2月24日

学校法人光星学院
八戸学院第二しののめ幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく元気な子」

「心の豊かな子」

「自分の考えをもてる子」

2. 本園の特色

(1) 体験や行事を通して学びの芽ばえを育てる表現活動

(2) 自然体験を通して育てる喜びと食育活動

(3) 八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部と連携した教育活動

3. 令和7年度重点目標の達成および取り組みの状況

重点目標

< 1 > 教育内容の充実

1. 法人内上級学校との連携を深め、保育・教育内容の充実を図る。

2. 行事を通じた体験学習、自然と人との関わりを大切にした体験学習の充実を図る。

3. 小学校との連携・接続プログラムを充実させ、計画的に実施する。

< 2 > 教職員の資質と専門性の向上を図る

1. 研修への参加、園内研修の充実を図る。

< 3 > 保護者・地域との連携を深める

1. 保護者との連携による活動を充実させる。

2. 地域とのつながりを意識した情報発信に努める。

< 4 > 教育環境の整備

1. 教室環境の整備

2. 遊具、施設設備の整備。

達成度と取り組み状況

※評価 (A…十分な成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

目標項目	評価	取り組み状況
<1> 教育内容の充実		
①法人内上級学校との連携を深め、保育・教育内容の充実を図る。	A	<p>八戸学院大学健康医療学部看護学科 看護実習 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 教育実習 八戸学院光星高等学校保育福祉科保育コース 保育実習 星の子シアター(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科と系列3幼稚園の連携行事) 英語教室(大学:アンソニー先生 年間8回) 造形教室(短期大学部:渡邊先生 年間6回) リトミック(短期大学部:中嶋先生、坂本先生、松坂先生 年間10回) サッカー教室(大学:三田コーチほか 年間15回) 運動遊び(短期大学部:澤井先生 年間6回) 音楽教室(短期大学部名誉教授:附田先生 年間10回) 短期大学部の学生による行事のボランティア(運動会・おゆうぎ会) 大学生、短大ゼミ学生の訪問もあり、連携を深めた。</p>
②行事を通じた体験学習、自然と人との関わりを大切にしたい体験学習の充実を図る。	A	<p>5月 園外保育(八戸公園こどもの国)、 6月 親子スポーツフェスティバル 7月 ブルーベリー狩り(南郷・根岸ファーム) 年長児お楽しみ会 ボディペインティング 8月 三社大祭山車見学(DENZAI川端重機興業さん前で新井田山車組の山車とお囃子の見学) 9月 八戸市水産科学館マリエント(年少児) 児童科学館でプラネタリウム鑑賞(年中児) 秋祭り&バザー 11月 勤労感謝の日の訪問(業務班・園バス運転手さんへ年中児が訪問、近隣のDENZAI川端重機興業さんへ年長児が訪問) ・園の畑で野菜を育てる(苗植え、じゃがいもと枝豆の収穫、さつまいもの収穫、試食、焼きいも会)</p>

		<p>1月 もちつき会・餅花作り 種差少年自然の家でそり遊び体験</p> <p>2月 豆まき</p> <p>3月 ひなまつり</p> <p>など季節の遊びや行事を行った。</p> <p>・うさぎのみみちゃん(2023年2月1日生まれ・今年34歳)と亀のみらいちゃん、熱帯魚の飼育を通じて生き物に親しみを持って命の大切さに気付くことや生き物への興味関心を育み、子ども同士の関係も深めることができた。</p>
③小学校との連携・接続プログラムを充実させ、計画的に実施する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小保連携プログラムの作成にあたって、旭ヶ丘小学校と連携し、作成に着手した。 ・支援の必要な園児について、個別に情報共有を行った ・卒園後の就学予定先の全小学校に年長クラスの参観日の案内を出し、幼稚園での子どもの様子を参観していただき、その後の懇談会で情報共有を行う(2月20日) ・旭ヶ丘小学校との交流会は、星の子シアター合同練習(本場前日)と重なり、今年は参加できなかった。 ・交流会の実施が3学期のみになっているので、年間を通して段階的に実施できるよう、計画していきたい。
<2> 教職員の資質と専門性の向上を図る		
①研修への参加、園内研修の充実を図る。	A	<p>教員の資質向上を図ることを目的として、積極的に研修参加するように促した。その結果、年間で17の研修会に参加し、延べ30名が受講することができた。今年度は、各教職員の課題や経験等に応じた研修を受講することができ、幼稚園教諭としての人格と資質向上に努めた。園内研修は6回実施し、日頃の教育保育に生かすことができた。</p>
<3> 保護者・地域との連携を深める		
①保護者との連携による活動を充実させる。	A	<p>親子スポーツフェスティバル、秋祭り&バザー、おゆうぎ会など、保護者とともに活動する行事を例年通りに行うことができた。</p>
②地域とのつながりを意識した情報発信に努める。	A	<p>地域の方からお借りしている園舎前の畑で、野菜の栽培をし、苗植えや収穫などの様子をホームページに掲載した。水やりや作物の成長の様子などを頻繁に情報発信した。また、地域にあるDENZAI 川端重機興業さんには昨年に引き続き、三社大祭新井田山車組の山車の見学に招待され、山車とお囃子の見学をすることができた。勤労</p>

		感謝の日には、年長児が感謝のお花と色紙を持参するなど地域とのつながりを大切にしました。未就園児教室の活動も地域とのつながりを意識して、ホームページに随時掲載し、情報発信に努めた。
<4> 教育環境の整備		
①教室環境の整備	A	今年は、現状維持にとどまった。昨年度、うさぎ組とりす組の2教室にエアコンが設置されたので、猛暑での園内環境が改善され、快適な温度で過ごすことができるようになった。
②遊具、施設設備の整備。	A	ピアノの調律 駐車場の整備(アスファルトで穴埋め工事)、 砂場の細菌検査(異常なし) を行った。

4. 総合的な評価

評 価	理 由
A	今年度も子どもたちが元気に楽しい幼稚園生活を送ることができた。保護者のみなさまと地域の方々のご協力に感謝申し上げたい。今年度掲げた重点目標については、概ね良好であった。保護者アンケートでは、すべての項目において昨年よりも高評価であった。教職員と保護者の関係が良好であり、子どもたちが楽しく幼稚園生活を送っていると感じている。教職員の自己評価アンケートに関しては、いずれの項目も昨年度と同じか、若干低くなっているが、今年度、教職員各々が積極的に研修に参加し、自己研鑽に励んだと思う。今後も改善していくべきことに真摯に向き合い、少人数の教育の良さを活かして、子どもたちの育ちを育んでいきたい。募集停止が決まったが、最後まで丁寧な教育保育をしていこう、教職員が一体となり、研鑽に務めたい。

5. 今後取り組む課題

課 題	内 容
保育の計画および 幼小連携・接続	日々の計画の見直しや反省をおこない、保育の充実を図る。また小学校との交流および連携を図り、接続プログラムの次年度完成を目指し、年間を通して計画的に実施できるよう教育課程を編成する。
教職員の資質 および専門性の向上	今後も各教職員の課題や経験等に応じた研修を受講するなど、幼稚園教諭としての人格と資質向上を図るようにしたい。特に、発達課題を抱える園児に対して必要な支援や働きかけ、適切な対応が講じられるよう、特別支援教育に関する研修を受講するようになりたい。

保護者・地域との連携を深める	有意義な教育相談や子育て支援ができるよう、積極的に在園児の保護者との情報共有を図る。また、卒園予定児の就学先（小学校）との連携と情報共有を図っていく。
園内施設・設備の安全整備	園舎や園庭の設備・備品・教具・遊具の点検を日頃から行い、園児の健康と安全確保を図る。また、年間を通して感染症対策を行い、夏季・冬季の室内環境を整える。

6. 学校関係者評価委員会を終えて（委員からの講評）令和8年2月20日開催

今年度の目標は、ほぼ達成されており、取り組みは良好だったと思われる。保護者アンケートの結果がいずれの項目も昨年よりも高い評価となっていることは、大変好ましい。たくさんの行事を計画し、子どもたちにさまざまな体験をさせていることについて、先生方の努力が伺える。地域の方々のご理解とご協力をいただき、三社大祭の山車を見に行ったり、これから計画されているえんぶり鑑賞を行ったりなど、地域の行事にも触れる機会があつてとても良いと思う。また、畑での苗植え・水やり・収穫を体験することで、野菜の生育を観察し、お友達と収穫した野菜を幼稚園で一緒に食べることで、野菜嫌いを克服することはとても微笑ましい。幼小連携は、今後も期待するところである。ICT教育については、今後、適宜取り入れていただき、子どもたちの教育・保育に活用していくことが望まれる。園児が少なくなっているが、今後も幼稚園の特色を活かしながら、子どもたちを育て、送り出してほしい。